

楽しんで面白い！子どもって面白い！



青南だより

令和4年 冬休み号

港区立青南幼稚園
園長 新山 裕之

<状況を意識して行動する力>

最近の集会では、どの学年も並び方や座り方がしっかりとできていてうれしく思っています。繰り返し指導してきたことですが、行事も含めた様々な経験を積み重ねてきた結果、個々の自覚が高まって、状況を意識してそれにふさわしい立ち居振舞いができるようになってきたと言えます。一つ上の学年に上がることを契機に、伸びようとする気持ちを支えながら、いいところを褒めていく関わり方が大切だと実感します。

<できて当たり前と思わず再確認を>

年長児は、小学校入学という節目を控え、子どもも大人も期待と不安の両方の気持ちがある時期です。幼稚園では、この時期に急に新しいことをするのではなく、これまで指導して積み上げてきたことで対応できると思っています。とは言え、あいさつ、身支度、箸を使っての食事、トイレの始末などについては、改めてそれが自分一人でもできるかどうか確かめておいた方がいいですね。

<困ったときの対応が大事です>

自分でできることは自分でさせていきますが、子どもですから、できないこともあって当たり前です。自分でできることを増やすことだけでなく、できないときにどうしたらよいかを身に付けておくことも重要です。失敗や間違いは恥ずかしいことではなく、困ったときに周りの人に助けを求めることができる力の方がむしろ大事とさえ言えます。

<子どもは大人の背中を見て育ちます>

幼稚園では、人と関わる際にどんな言い方をすればいいのか、自分も友達も気持ちよく過ごすためには、どんな立ち居振る舞いをすればいいのかを日々学んでいます。言われたことはやらないのに、まねしてほしくない大人の言動を子どもはいつの間にか使っているという経験は誰にもあるでしょう。お世話になりました。申し訳ありませんでした。昨日はありがとうございました。そんな小さなやり取りを大人同士がモデルとして示していくことが大切です。



PTAからすてきな花のプレゼント



大きく育った大根を抜きました！



ハンドベルのきれいな演奏に聞き入る子どもたち



今回は職員も参加して、園歌を演奏しました



終わるとすぐに幼稚園のハンドベルを出して、お客さんを招いての再現遊びが始まりました。



年少組も先生と一緒にトーンチャイムやベルを作って指揮者の方に自慢しました



靴をしっかり履いているお陰で、体を動かす遊びが充実しています